

スライドカンファランス

<症例2>

症 例：70歳代，男性，喫煙1日10本，40年間，現在は喫煙なし。

既往歴：特記すべきことなし。

現病歴：1年前から咽頭に違和感があり，中咽頭癌の疑いにて紹介受診。

検 体：咽頭擦過標本。

回答者診断：扁平上皮癌の疑い。

出題者解答：扁平上皮癌。

解 説：細胞像は炎症性背景に，異型細胞が小集塊および孤立性に出現していた。細胞質は紡錘形から多稜形であり（写真1a），オレンジG好性の異常角化を示した。核は腫大し，大小不同や核形不整，粗顆粒状クロマチンの増量を認めた（写真1b）。

また一部には，両染色性を有する異型細胞やN/C比が高いライトグリーン好性の異型細胞（写真2a），多核を有する角化異型細胞（写真2b）も出現していた。

咽頭の生検組織では，腫瘍細胞が胞巣状に配列し，癌真珠の形成および角化細胞を認めた（写真3）。また，核腫大やクロマチン増量を伴う腫瘍細胞が敷石状に出現していた（写真4）。以上の所見より扁平上皮癌と

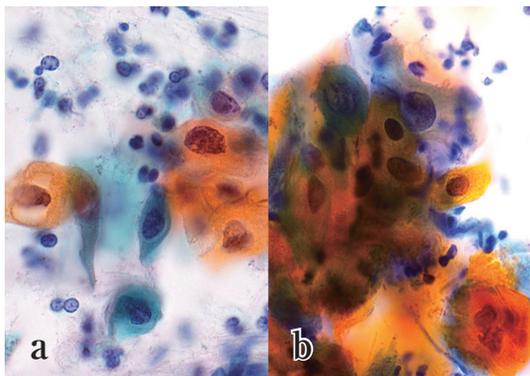


写真1 a：オレンジG好性で紡錘形の細胞質をもち，粗顆粒状クロマチンが増量した細胞。b：核の大小不同が著しく，核形不整，核クロマチンの増量を認める（a：Pap.染色，×100。b：Pap.染色，×100。）。

診断された。

口腔内領域における扁平上皮癌の細胞所見は，細胞異型が弱く，乾燥等細胞変性が多く加わること，鑑別を要すべき病変があることから判定に大変苦慮することが多い。口腔内領域の扁平上皮内病変において詳細に観察すべき細胞としては，非角化扁平上皮由来の深層型細胞および角化扁平上皮由来の表層型細胞がある¹⁾。

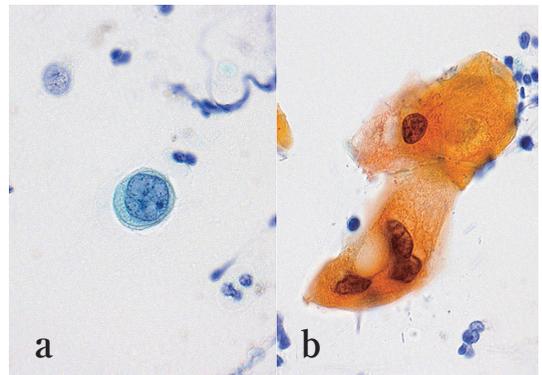


写真2 a：N/C比が高く，核クロマチンが増量した異型細胞を認める。b：オレンジG好性の細胞質に多核で核形不整，核クロマチンの増量を認める（a：Pap.染色，×100。b：Pap.染色，×100。）。

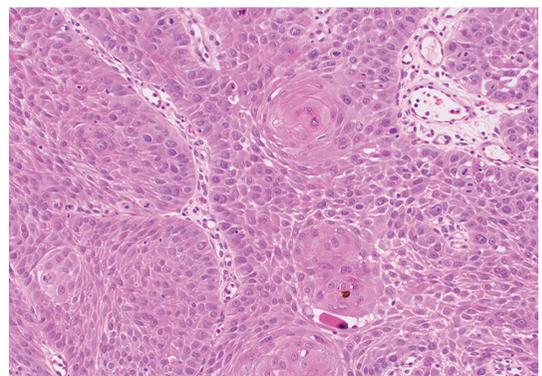


写真3 腫瘍細胞が胞巣状に配列し，癌真珠の形成および角化細胞が出現（HE染色，×20）。

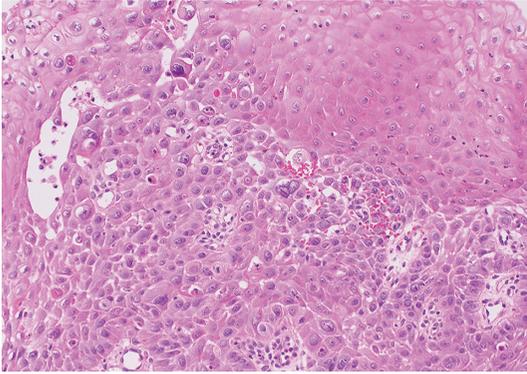


写真4 核腫大やクロマチン増量を伴う腫瘍細胞が敷石状に出現 (HE染色, ×20)。

深層型異型細胞の所見は、シート状集塊から散在性に出現し、細胞質は広く、ときに相互封入像を認める。集塊で出現する場合は集塊内の核密度が高く、配列不整を呈する。核は大小不同や核形不整、核小体を認め、クロマチンが増量している。深層型異型細胞は一見して再生上皮と鑑別を要するが、配列不整や細胞密度が高いことから悪性との診断は可能であると報告がある¹⁾。今回の症例でも深層型異型細胞に相当する細胞(写真2a)を認めたが、標本上に極めて少数しか出現していなかったため判定は困難であった。

一方、表層型細胞では細胞質の形状、色調、核所見の3つの細胞所見に注意する必要がある。細胞質の形状では奇怪形や紡錘形、線維形の細胞質および真珠形成を認めれば扁平上皮癌を考えるべき所見である。細胞質の色調は、パンプキンイエローやレモンイエロー、光輝性のあるオレンジGを呈するこれらは正常では出現しないため、N/C比が低くても扁平上皮癌の存在を疑うべきである。核所見は、核の大きさや著明な大

小不同、バリエーションに富む核形不整、明瞭な核小体の出現、クロマチンの増量に注意を要する必要がある。

以上、注意すべき細胞所見を列挙したが、これらの所見と鑑別を要し、肉眼的に白色粘膜を有する口腔内病変として、カンジダ症や扁平苔癬、白板症、紅板症が存在する²⁾。カンジダ症、扁平苔癬では炎症性背景に角化を示す表層型細胞が出現し、核肥大や核周囲明庭、軽度の大小不同といった所見を認める。前癌病変に相当する白板症は、細胞の多形性、光輝性をもつ細胞質、N/C比が高い表層型異型細胞が出現し、扁平上皮癌の表層型異型細胞との鑑別を要する。紅板症は上皮内癌に相当し、扁平上皮癌で出現する異型細胞の所見に類似した像が出現するため鑑別が非常に困難である^{2,3)}。

口腔内領域の扁平上皮癌における細胞診断のポイントとして、深層型異型細胞および表層型異型細胞を詳細に観察することである。しかしながら、口腔内領域は細胞変性等が加わりやすいこと、鑑別を要する口腔内病変があることから診断は容易ではなく、臨床所見や肉眼所見、組織所見等を加味し、診断することが肝要である。

筆者らは、開示すべき利益相反状態はありません。

文 献

- 1) 渡邊睦子, 牧野 純, 小山剛司, 今井宏樹, 仲村 武, 河野尚美・ほか. 口腔内領域における細胞像(扁平上皮癌)の検討. 共済医報 2007; 56: 34-38.
- 2) 太田秀一. 頭頸部・口腔細胞診アトラス. 東京: 医療科学社; 2009. 260-269.
- 3) 久山佳代, 杉浦里恵, 松本 敬, 山本浩嗣. 口腔白板症および扁平苔癬の比較細胞学的検討. 日臨細胞誌 2000; 39: 429-436.